



秋田県消防学校の初任教育第六七期入校式は四月一二日(金)、県内一三消防本部から入校した九六名の学生や来賓、家族など二七〇名が出席し、同校屋内訓練場で行われた。

入校式では、過去最多となる九六名の入校生の名前が一人ひとり発表され、中村基校長が式辞を述べた。

続いて堀井啓一秋田県副知事、中泉松之助秋田県消防協会会長、小林博美秋田県消防長会会長(秋田市消防長)が入校生を激励した後、入校生を代表して大曲仙北広域市町村圏組合消防本部 茂木信哉消防士が宣誓を行った。

入校生は、九月二〇日(金)までの約半年間、寮で共同生活を送りながら、消防全般にわたる基礎的知識と技術の習得、厳正な規律、旺盛な気力と体力の錬成などの教育訓練を受け、警防隊員として活動できる能力

# 第六七期 初任教育入校式

過去最多の九六名が入校

秋田県消防学校



題 字  
初代会長 松野盛吉  
定 価 1部 5円  
(購読料は年会費に含む)

発行人  
〒010-0951  
秋田市山王四丁目1番2号  
秋田地方総合庁舎内  
秋田県消防協会  
会長 中泉松之助  
電話 018-867-7320  
FAX 018-863-5910  
<http://www.shoubou-akita.or.jp>  
E-mail:ask@shoubou-akita.or.jp

印 刷  
〒010-0951  
秋田市山王7丁目5-29  
株式会社 松原印刷社  
電話 018-862-8760  
<http://www.matsubarainsatsu.co.jp>

平成二十五年度全国統一防火標語

消すまでは 心の警報 ONのまま

を養成することとなる。

今年度も女性消防士四名が入校し、これで六年連続の二三名となった。

東日本大震災で津波被害を受けた岩手県宮古市出身で、今春、大曲仙北広域市町村圏組合消防本部に採用された吉田瑞穂消防士は「消防士としての基礎をしっかりと身に付け、自分が理想とする消防士になれるよう頑張りと、秋田や宮古のために役に立ちたい」と語った。

## 中村校長式辞

晴れて消防職員として、新たな一歩を踏み出しました皆さんの入校を、心から歓迎申し上げます。

さて、社会の安心は、安全が絶対条件であります。先の東日本大震災で国民皆が目にしたように、近年の災害は、多様化、複合化、大規模化しております。どのような状況下であろうとも、消防の任務は、生命や身体、財産を守り、安全を確保することにあります。それだけに、消防に対する県民の期待は実に大きいものがあります。



## 入校生宣誓

入校期間中に必要な知識・技能を習得し、県民に信頼され、負託に堪えることのできる消防人となるよう、強い信念を持って、怯むことなく頑張ってください。

大曲仙北広域市町村圏組合消防本部の茂木信哉消防士は「入校の意義と消防の責務を自覚し、校則を守り、和を尊び、規律ある学校生活を通じて、勉強研修に励み、消防職員として地域住民の信頼に値する人格陶冶に努めることを誓う」と宣誓した。

初任教育第66期 入校生名簿

【1組】

秋田市消防本部

渡部 佳也 村上 浩平  
三浦 聖史 大澤 雄介  
進藤 祐介

大館市消防本部

田山 翔平 三浦 兼晴  
伊東 省吾

北秋田市消防本部

三沢 慶太 畠山 光大

由利本荘市消防本部

菊地 太郎 佐藤 亮  
三船 裕喜 小野 剛

にかほ市消防本部

須藤 憂真

横手市消防本部

高橋 洋平 佐藤 光平  
佐藤 大地 天久 朝之亮  
佐藤 初音 粟津 健汰  
柴田 聖椰 石橋 尚也  
首藤 知脩

五城目町消防本部

菊地 航平

鹿角広域行政組合消防本部

田中 崇大

能代山本広域市町村圏組合消防本部

伊藤 健 佐藤 大祐  
藤田 岳 牧野 孔智

湖東地区行政一部事務組合消防本部

川口 直志 伊藤 誉紀

男鹿地区消防一部事務組合消防本部

小澤 透 藤田 大輝  
安田 龍司

大曲仙北広域市町村圏組合消防本部

高橋 公也 小野地 翔平  
富岡 巧 吉田 瑞穂  
佐々木 宏伸 茂木 雄大  
伊藤 綾汰 小松 大純

湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部

矢吹 健 阿部 誠  
瀬川 優斗 小野崎 雄太  
後藤 尚斗

【2組】

秋田市消防本部

水沢 茂樹 越川 俊光  
栗山 和正 柴田 光  
佐藤 怜弥

大館市消防本部

日景 雄大 鈴木 大貴

北秋田市消防本部

松橋 皇成 津谷 翔  
成田 聖仁

由利本荘市消防本部

佐藤 卓 高野 央  
三浦 裕太 伊藤 亘  
鈴木 柊斗 須田 祐加  
堀井 海斗

にかほ市消防本部

佐藤 圭介 佐藤 憂弥

横手市消防本部

下総 広幸 鈴木 篤  
越後谷 昂 高橋 正樹  
堀江 純弥 皆川 富美也  
柴田 俊弥

五城目町消防本部

佐藤 佑

鹿角広域行政組合消防本部

小館 廉史 湯沢 健太

能代山本広域市町村圏組合消防本部

小山内 幸平 佐藤 優紀  
田村 勇太 平川 祐公

湖東地区行政一部事務組合消防本部

伊藤 駿平 鎌田 朋大

男鹿地区消防一部事務組合消防本部

蓬田 雄希 戸嶋 惣栄

大曲仙北広域市町村圏組合消防本部

茂木 信哉 滝沢 清栄  
大釜 一也 田近 美穂  
高橋 佳佑 高橋 徳光  
山手 恵太郎 浅利 貴司

湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部

新山 裕樹 梁瀬 雅弘  
藤原 数喜



秋田県消防学校職員名簿

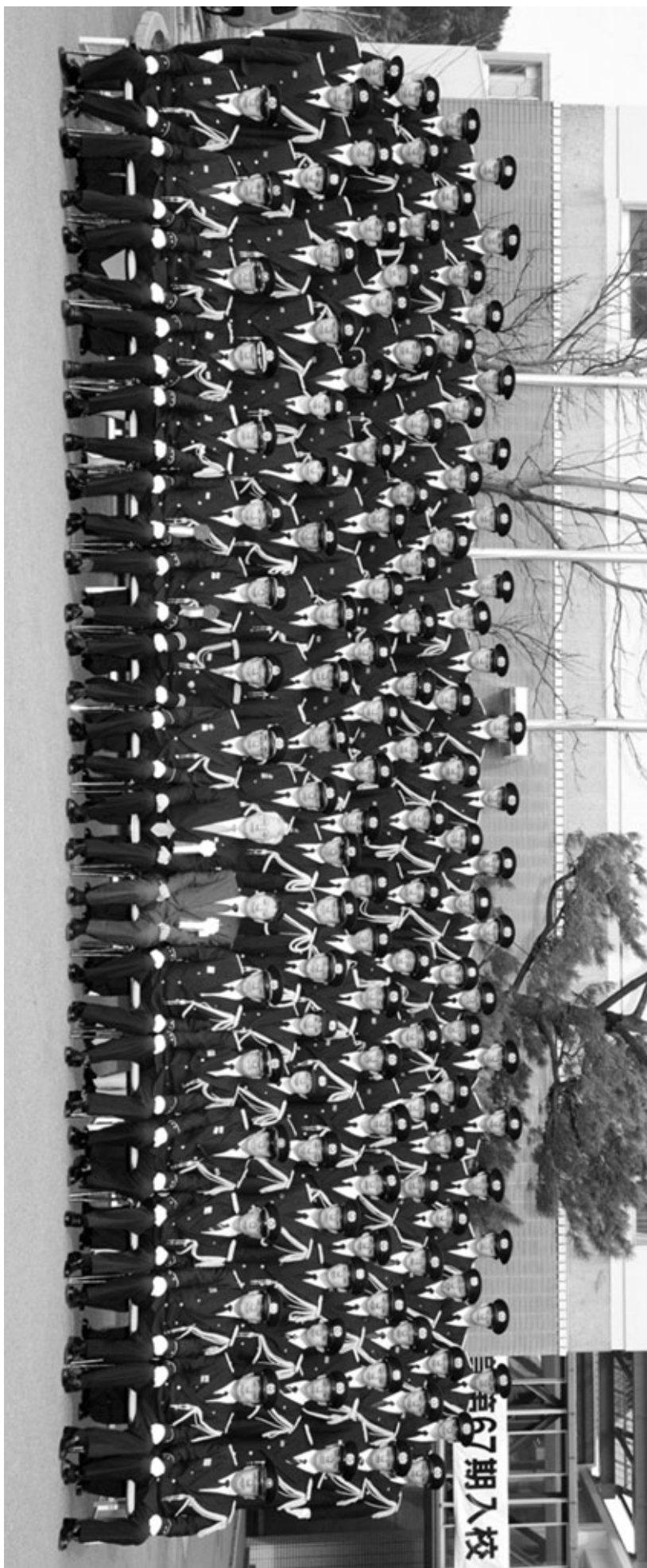
校長 中村 基  
副校長 保坂 重彦

総務班

主幹・班長 高橋 一彦  
主任 高石 黒彦  
主任 伊東 絵美  
技能主任 篠田 均隆  
舎監 大滝 寿  
舎監 長谷部

教務班

副主幹・班長 後藤 洋光  
副主任 大野 徳学  
主任 藤野 春心  
主査 佐藤 和一  
主査 藤原 憲  
講師 木島 悦等  
講師 伊藤



## 秋 田 県 消 防 学 校 平 成 25 年 度 教 育 訓 練 計 画

秋田県消防学校では、消防団員を対象とした教育訓練を行っている。そのうち基礎教育第59期、幹部教育第58期の実施要領を紹介するので、参考にさせていただき、多くの団員が受講されることを期待している。受講希望者は、市町村消防団係にお問い合わせ下さい。

| 消防団員基礎教育第59期                  |     | 教育課程     | 消防団員幹部教育第58期                       |     |
|-------------------------------|-----|----------|------------------------------------|-----|
| 入団して概ね3年未満の消防団員に対して、基礎的教育を行う。 |     | 目 的      | 班長以上の階級にある消防団員に対し、幹部として必要な教育訓練を行う。 |     |
| 団員の階級にある者                     |     | 対 象 者    | 班長以上の階級にある者                        |     |
| 平成26年2月15日(土)～16日(日)          |     | 教育期間     | 平成26年1月18日(土)～19日(日)               |     |
| 教科目 (教育内容)                    | 時間数 | 教科目及び時間数 | 教科目 (教育内容)                         | 時間数 |
| 訓練礼式(各個訓練、小隊訓練、通常点検要領)        | 2   |          | 講話 (職責と心構え)                        | 1   |
| 組織制度 (消防団の組織制度)               | 1   |          | 組織制度 (消防団の概要)                      | 2   |
| ポンプ操法 (消防ポンプ操法)               | 2   |          | 防災 (防災対策と活動要領)                     | 2   |
| 火災防御・安全管理(火災防御、安全対策)          | 2   |          | 現場指揮 (現場指揮要領)                      | 3   |
| 防災 (災害対策)                     | 1   |          | 安全管理 (事故予防対策)                      | 2   |
| 救急救助 (応急手当、基本結索)              | 2   |          | 事例研究 (実務研究課題討議)                    | 1   |
| 行事その他 (入校式、修了式等)              | 2   |          | 行事その他 (入校式、修了式等)                   | 1   |
| 計                             | 12  |          | 計                                  | 12  |

## 教 育 訓 練 計 画 (総括表)

| 教 育 課 程          |                  | 教 育 実 施 期 間            |                           | 入 校 対 象 者                                  |                                      |
|------------------|------------------|------------------------|---------------------------|--|--------------------------------------|
|                  |                  | 日 数                    | 時 期                       |  |                                      |
| 消<br>防<br>職<br>員 | 初 任 教 育          | 164                    | H25.4.10～H25.9.20         | 新たに採用された消防職員                               |                                      |
|                  | 専<br>科<br>教<br>育 | 警 防 科                  | 12                        | H25.11.11～H25.11.22                        | 警防業務に従事している者又は従事しようとする者で、消防歴3年以上の者   |
|                  |                  | 危 険 物 科                | 5                         | H25.12.2～H25.12.6                          | 危険物業務に従事している者又は従事しようとする者で、消防歴3年以上の者  |
|                  |                  | 火 災 調 査 科              | 12                        | H25.10.21～H25.11.1                         | 火災調査業務に従事している者又は従事しようとする者で、消防歴3年以上の者 |
|                  |                  | 救 急 科                  | 52                        | H26.1.8～H26.2.28                           | 救急業務に従事しようとする者                       |
|                  |                  | 救 助 科                  | 31                        | H25.10.2～H25.11.1                          | 35歳以下の救助業務に耐えうる体力を有している者             |
|                  | 特 殊 災 害 科        | 10                     | H25.10.9～H25.10.18        | 警防及び救助業務に従事している者又は従事しようとする者で、消防士長以上の階級にある者 |                                      |
|                  | 幹 部 教 育          | 9                      | H25.8.1～H25.8.9           | 55歳以下の消防司令以上の階級にある者                        |                                      |
|                  | 特<br>別<br>教<br>育 | 消防操法指導員講習              | 2                         | H25.5.8～H25.5.9                            | 消防士長以上の階級で、訓練礼式・消防操法を担当する者           |
|                  |                  | 救急特別講習                 | 5                         | H25.12.9～H25.12.13                         | 救急救命士養成所への入所予定者                      |
| ビデオ喉頭鏡追加講習       |                  | 2                      | H25.11.7～H25.11.8         | 気管挿管資格者である救急救命士                            |                                      |
| 消<br>防<br>団<br>員 | 基 礎 教 育          | 2                      | H26.2.15～H26.2.16         | 団員の階級にある者                                  |                                      |
|                  | 幹 部 教 育          | 2                      | H26.1.18～H26.1.19         | 班長以上の階級にある者                                |                                      |
|                  | 特<br>別<br>教<br>育 | 女性消防団員教育               | 2                         | H25.11.30～H25.12.1                         | 秋田県消防協会の推薦による女性団員                    |
|                  |                  | 日消指導員教育                | 2                         | H25.10.26～H25.10.27                        | 団員の教育訓練を担当する者                        |
|                  | 現<br>地<br>教<br>育 | 現 地 教 育                | (内容・時間数について、地域の実情を勘案して実施) |  | 市町村長等の推薦による団員                        |
| 一 日 入 校 教 育      |                  | (内容・時間数について、要望を勘案して実施) |                           | 市町村長等の推薦による団員                              |                                      |
| そ<br>の<br>他      | そ の 他 入 校 教 育    | (内容・時間数について、要望を勘案して実施) |                           | 各種団体等の要請による                                |                                      |

平成二五年春の叙勲  
第二〇回危険業務従事者叙勲

平成二五年春の叙勲及び第二〇回危険業務従事者叙勲の受章者が発表され、消防関係の本県受章者は春の叙勲二二名、危険業務従事者叙勲七名が受賞されました。誠にめでとうございます。

平成二五年春の叙勲

◆瑞宝双光章(一名)

元潟上市消防団 長 菅原金春

◆瑞宝单光章(二一名)

元仙北市田沢湖消防団 副 団 長 荒木田芳美  
元能代市連合消防団能代消防団 分 団 長 大槻昭一  
元男鹿市消防団 分 団 長 小山田俊勝  
元鷹巣町消防団 副 団 長 小松秀雄  
元藤里町消防団 分 団 長 齋藤守一  
元横手市増田消防団 分 団 長 佐々木宗助  
元横手市雄物川消防団 分 団 長 佐々木信義  
元羽後町消防団 分 団 長 柴田孝夫  
元三種町消防団 副 団 長 清水三千男  
元大館市消防団 分 団 長 菅原利雄  
元横手市横手消防団 分 団 長 鈴木淳一  
元河辺町消防団 分 団 長 鈴木正勝

第二〇回危険業務従事者叙勲

◆瑞宝双光章(三名)

元横手市消防本部 消防司令長 菅谷 一  
元にかほ市消防本部 消防 監 高橋 誠

◆瑞宝单光章(四名)

元鹿角市広域行政組合消防本部 消防司令長 金澤 秀美  
元大曲仙北広域市町村圏組合消防本部 消防司令長 竹内 宗一  
元湖東地区行政一部事務組合消防本部 消防司令 半田 嘉比呂  
元北秋田市消防本部 消防司令長 柳山 敏幸

元上小阿仁村消防団 副 団 長 田中 巖  
元大仙市消防団 副 団 長 田村 勉  
元西仙北町消防団 團 長 内藤 惣二  
元岩城町消防団 分 団 長 星川 雄悦  
元仙北町消防団 副 団 長 星宮 岩男  
元大仙市消防団 團 長 間瀬 堅一  
元美郷町消防団 團 長 三浦 勝二  
元森吉町消防団 分 団 長 吉田 博藏  
元仙北市角館消防団 副 団 長 渡部 博

新消防長紹介



秋田市消防本部 小林 博美  
横手市消防本部 伊藤 弘明  
大館市消防本部 渡部 明  
由利本荘市消防本部 佐々木 輝一  
にかほ市消防本部 伊東 善輝  
湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部 佐藤 敏彦  
大曲仙北広域市町村圏組合消防本部 菅原 達美  
湖東地区行政一部事務組合消防本部 菅原 良己

新消防団長紹介



北秋田市消防団 金田 咲美  
三種町消防団 金子 忠夫  
男鹿市消防団 鈴木 清  
八郎潟町消防団 齊藤 和雄  
秋田市消防団 海野 達雄  
由利本荘市消防団 周防 彦宗  
にかほ市消防団 佐々木 護  
横手市十文字消防団 片野 孝

平成24年度消防互助会見舞金等の贈呈状況

| 見舞金等の種類           | 件数(件)   | 金額(千円) |
|-------------------|---------|--------|
| 罹災見舞金             |         |        |
| 住家全焼・全壊           | 3       | 300    |
| 住家半焼・半壊           | 36      | 1,000  |
| 非住家又は家財焼失・損壊      | 36      | 420    |
| 小 計               | 75      | 1,720  |
| うち平成24年4月の爆弾低気圧関係 | 71      | 1,390  |
| 弔慰・傷痍見舞金          | 24      | 240    |
| 結婚祝い金             | 90      | 900    |
| 合 計               | 189     | 2,860  |
| 【参考】消防互助会加入者数     | 19,062人 |        |

秋田県消防協会消防互助会委員名簿

平成25年4月1日現在

|     |         |                |
|-----|---------|----------------|
| 委員長 | 佐藤 生 治  | 仙北市消防団 団長      |
| 委員  | 成田 俊 昭  | 小坂町消防団 団長      |
|     | 北林 義 高  | 上小阿仁村消防団 団長    |
|     | 金子 忠 夫  | 三種町消防団 団長      |
|     | 遠間 富 和  | 井川町消防団 団長      |
|     | 備後 孫 忠  | 秋田市消防団 副団長     |
|     | 今野 文 夫  | 由利本荘市消防団 岩城支団長 |
|     | 高階 健太郎  | 横手市山内消防団 団長    |
|     | 佐々木 謙 吉 | 東成瀬村消防団 団長     |

任期：平成25年4月1日～平成27年3月31日

消防互助会審議委員会

一八九件の見舞金・祝い金を贈呈

秋田県消防協会消防互助会審議委員会は四月二十五日(木)、九名の委員全員が出席し、秋田市の「ルポールみずほ」で開催された。

消防互助会は、協会の目的及び事業の円滑な推進に寄与するため、会員相互の共存共栄及び親睦融和を図るとともに消防士気の高揚を図ることを目的に、罹災見舞金や弔慰・傷痍見舞金、結婚祝い金の贈呈などを行う事業で、平成二三年度から実施している。

今般の審議委員会は、委員改選後

初めての委員会であったことから、最初に委員長の選出が行われ、委員長には委員の互選により佐藤生治仙北市消防団団長が選出された。

引き続き、佐藤委員長が議長となり、平成二四年度消防互助会決算や平成二五年度消防互助会予算などを審議した。

平成二四年度罹災見舞金贈呈事業では、四月の爆弾低気圧による風水害の見舞金が多く発生し、平成二三年度比六四件増の七一件に上った。

「東日本大震災

消防殉職者遺児

育英奨学基金」

ご協力をお願い

この基金は、東日本大震災において、水門閉鎖や避難誘導、救助、消火など懸命な活動を続け殉職された消防団員、消防職員の遺児の健全な成長を願い、その修学を支援するものです。

平成二四年二月に基金を設けて以来、多くの方々からご協力を頂いておりますが、何分にも遺児の数が多いことから基金が不足している状況にあります。

引き続き、ご寄付を賜りますようお願い申し上げます。

東日本大震災  
消防殉職者遺児育英奨学基金  
ご協力をお願い



公益財団法人 消防育英会  
財団法人 日本消防協会  
全国消防長会

ご寄付の方法

次のいずれかの方法でお願い致します。

下記口座への振込 現金送付 持参

寄付金の振込先

■りそな銀行

りそな銀行 金融機関コード 0010  
東京公務部 支店コード 295  
普通預金 0078446  
口座略称 東日本大震災消防育英基金  
(ヒガシホンドイソシヨウホウイクイキキキ)

■郵貯銀行

口座記号番号 00160-4-418360  
加入者名 東日本大震災消防育英基金

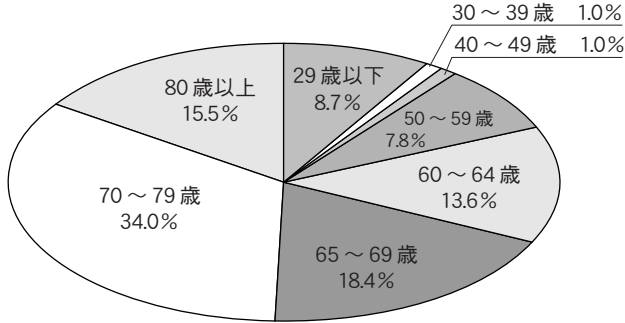
\*振込手数料は、寄附される方のご負担となります。

山岳遭難事故の発生状況

|       |      | H21 | H22 | H23 | H24 |
|-------|------|-----|-----|-----|-----|
| 合 計   | 件 数  | 85  | 83  | 68  | 89  |
|       | 遭難者数 | 97  | 92  | 74  | 103 |
|       | うち死亡 | 16  | 16  | 11  | 14  |
| 登 山   | 件 数  | 14  | 9   | 4   | 7   |
|       | 遭難者数 | 16  | 12  | 5   | 7   |
|       | うち死亡 | -   | -   | -   | 2   |
| 山菜取り  | 件 数  | 45  | 39  | 45  | 57  |
|       | 遭難者数 | 55  | 43  | 50  | 63  |
|       | うち死亡 | 8   | 6   | 8   | 4   |
| きのこ取り | 件 数  | 13  | 19  | 8   | 16  |
|       | 遭難者数 | 13  | 21  | 8   | 16  |
|       | うち死亡 | 3   | 3   | -   | 4   |
| そ の 他 | 件 数  | 13  | 16  | 11  | 9   |
|       | 遭難者数 | 13  | 16  | 11  | 17  |
|       | うち死亡 | 5   | 7   | 3   | 4   |

\*「その他」は森林伐採、溪流釣り等の事故

平成24年山岳遭難 年代別発生状況



消防 半天・帯・団旗  
優勝旗・ゼッケン  
手拭・タオル・のれん  
旗幕類名入染物専門

**寺 田 染 工 場**

横手市清川町 ☎32-0416

トーハツ消防ポンプ  
モリタ自動車ポンプ 総合防災設備センター  
消防被服全般  
秋 田 県 代 理 店

**株式会社 高 義 商 会**

(営業種目) トーハツ小型動力ポンプ  
モリタ自動車ポンプ  
ジェットホース  
消防被服全般  
火災報知器各種  
消火器各種

〒012-0105 本社 湯沢市川連町字万九郎屋布32  
TEL(0183)(42)2125  
〒012-0844 湯沢市田町 TEL(0183)(73)2588

**秋田県山岳遭難 防止対策協議会**

山菜採りが遭難の六四%を占める

平成二五年度秋田県山岳遭難防止対策協議会(会長・堀井啓一秋田県副知事)総会が四月二六日(金)、秋田県庁第二庁舎で開催され、平成二四年山岳遭難事故発生状況の報告などが行われた。

山岳遭難事故報告によると、発生件数は八九件、うち山菜採りが五七件で六四・〇%を占め、遭難者数は一〇三人、うち六五歳以上の高齢者は七〇人で六七・九%を占めた。

**入山者の皆さんへ**

**山菜採りに行くときの注意・装備品の注意**

- ①一人で山には入らないで、家族(又は知人)に行き先を告げる
- ②自分の体力、体調にあった行動をとる
- ③知らない山には入らない
- ④天気予報・気象情報を確認してから出かける
- ⑤予備の食糧、雨具、着替え、ライター、熊鈴、ラジオ、笛などを持つ
- ⑥携帯電話(電波の届く場所を確認する)
- ⑦服装、所持品は目立つ色にしましょう
  - ・自然界に無い色の物を着用・持参しましょう
  - ・搜索する側から目立つ色は白色
  - ・白いタオルを持参して入山して下さい

**入山の注意・登山の注意**

- ①声を掛け合い、お互いの居場所を確認して同行者と離れない
- ②方向を見失わないようにする
- ③無理をせず早めに切り上げ、明るいうちに下山する

**もし、迷ってしまったら**

- ①むやみに歩き回らない  
(沢や崖などに転落してしまう場合があります)
- ②雨風を防げる場所で救助を待つ
- ③明るくなったら見通しの良い場所に出て、救助を待つ
- ④搜索のヘリコプターを見つけたら、見通しの良い場所に移動して、目立つ色の着衣、雨具、タオル等を振って自分の居場所を知らせる

**株式会社 夕 力 ギ**

秋田県横手市寿町1番28号  
TEL (0182)(32)3880

(営業種目)

|            |         |
|------------|---------|
| 日本機械自動車ポンプ | キンパイホース |
| トーハツポンプ    | シバウラポンプ |
| 各種消防機械器具   | 各種消火器   |
| 消防設備保守点検   |         |

ホームページ <http://www.17.ocn.ne.jp/~takagi/>  
E-mail [ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp](mailto:ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp)

支部情報アラカルト

「春の火災予防運動

総合防災訓練を実施」

Ⅱ大曲仙北広域市町村圏組合消防本部Ⅱ

春の火災予防運動初日の四月七日、大仙市消防団大曲支団は、内小友中沢地区を会場として内小友地区コミュニティ会議、中沢自治会、特別養護老人ホームテンダーヒルズ、大曲仙北危険物安全協会、秋田県LPガス協会大曲仙北支部、大曲消防署、大仙市等、関係機関多数の協力の下、訓練を実施しました。

訓練は、県南部を震源とする震度六強の地震が起き、倒壊した家屋で



火災が発生したとの想定により実施されました。

地域住民ら約六〇人がバケツリレーによる初期消火訓練、内小友地区コミュニティ会議などが地元中学校体育館に段ボールを使って避難スペースの設置訓練を行ったほか、特別養護老人ホームテンダーヒルズでは、火災発生時の入居者の避難誘導、はしご車を使った高所救助訓練、応急救護所の設置と搬送手順の確認を行い、最後は消防団による一斉放水で訓練を終了しました。

今回の訓練は、地域住民の防災意識の向上と連携強化を再確認することにつながる非常に有意義な訓練となりました。

〔情報提供 大仙仙北美郷支部〕



火災の発生状況 (速報値)

(秋田県総合防災課調べ)

|         | 平成 25 年 |     | 平成 24 年 |     |     | 同期比較 |     |
|---------|---------|-----|---------|-----|-----|------|-----|
|         | 4 月     | 累計  | 4 月     | 累計  | 年計  | 4 月  | 累計  |
| 建 物     | 19      | 75  | 24      | 78  | 234 | - 5  | - 3 |
| 林 野     | 9       | 9   | 9       | 9   | 31  | 0    | 0   |
| 車 輛     | 4       | 14  | 1       | 5   | 35  | 3    | 9   |
| そ の 他   | 10      | 15  | 11      | 17  | 82  | - 1  | - 2 |
| 合 計     | 42      | 113 | 45      | 109 | 382 | - 3  | 4   |
| 死 者 数   | 2       | 12  | 1       | 7   | 17  | 1    | 5   |
| 負 傷 者 数 | 10      | 25  | 2       | 24  | 66  | 8    | 1   |



森田ポンプ ラビットポンプ  
桜ホース・ソフト吸管 消防被服一式  
各種消火器 消防機器一式

株式会社 協 立  
株式会社 能代消防センター

〒016-0846 能代市栄町12の3  
TEL (0185) (52) 6361  
(52) 6494

地域の防災、災害対策に貢献!

消 防  
ポンプ自動車  
小型ポンプ  
ホース

設 備  
火災報知器  
スプリンクラー  
消火器

猿田興業株式会社

秋田市山王六丁目1番24号 TEL 018 (863) 1551(代)  
山王セントラルビル7F FAX 018 (824) 3651